

各位

会社名 石垣食品株式会社
 代表者名 代表取締役社長 石垣裕義
 (コード番号: 2901)
 問合せ先 経理部経理課課長 伊藤潤
 TEL 03 (3263) 4444

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年10月20日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	485	△30	△31	△31	△9.43
今回修正予想 (B)	405	△51	△53	△54	△16.05
増減額 (B - A)	△80	△21	△22	△23	
増減率 (%)	△16.5	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	451	△83	△86	△170	△50.36

平成29年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	484	△21	△23	△23	△7.04
今回修正予想 (B)	403	△44	△46	△58	△17.16
増減額 (B - A)	△81	△23	△23	△35	
増減率 (%)	△16.7	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	449	△51	△52	△165	△48.73

修正の理由

単独

第3四半期・第4四半期の売上を中心となる珍味事業のビーフジャーキーについて、新商品販売と販路拡大による売上増を見込んでおりましたが、特にOEM向け新商品の出荷が低調であったこと、また、自社ブランド品についても振るわなかったことにより予想を下回りました。

飲料事業において、秋冬がシーズンとなる健康茶類では、ごぼう茶において通販向け徳用タイプは伸長しているものの一般向け商品は低調となりごぼう茶合計では予想を下回りました。

冬場も一定の需要がある麦茶の売上高も予想を若干下回りました。

損益面においても売上高が予想を下回ったため工場稼働率が低下したことで赤字が拡大することとなりました。

連結

単独決算と同様の理由により、またビーフジャーキーの売上不振により、同商品を生産する中国生産子会社の稼働率が予想を下回り採算が悪化したことから、赤字が予想より拡大することとなりました。

以上